令和7年度 シラバス

科目名	単位数 (時間数)	学科・学年	担当者氏名
化粧品化学	2 単位 (60 時間)	理容科・1 学年 2 学年	松崎 一夫
学 習 目 標			授業の方法
<p>理容・美容技術の専門家としての基礎的・一般的知識の習得を目的とする。 「化学の基本原理の理解と応用能力が、理容師・美容師にきわめて重要な意義をもつことを理解させ、化粧品化学、化学に関する知識、技能の習得を目指す。 化粧品化学は高度な応用科学であり、工学や薬学のような実学である。対象となる物質が高校までに取り扱うものではないため、難易度が高いかもしれないが、化粧品化学でさまざまな方向から化粧品の知識と理解を深め、顧客への適切なアドバイスができるようになることを目指す。</p>			講義
成 績 の 評 価 方 法			
定期考査 (60 点以上を合格とする)			
教 科 書		副 読 本	
化粧品化学 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)			

学習指導年間計画 (授業計画)

【1 学年時】

章	項	内容・目的	履修時間
第 1 章 化粧品概論	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の社会的意義と品質特性 化粧品の規制 化粧品の安定性と取り扱い上の注意 化粧品と安全性 	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の社会的意義を理解させる。 化粧品の品質特性やその種類と機能を理解させる。 化粧品の定義と規制について理解させる。 	6
第 2 章 化粧品用原料	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の対象となる人体各部の性状 水性原料 油性原料 界面活性剤 高分子化合物 色材 香料 その他の配合成分 ネイル、まつ毛エクステンション用材料 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの原料の特徴・特性を理解させる。 さらに分類がある場合には、それぞれ分類される原料の特徴・特性を理解させる。 各々の分類にあたる代表的な原料について考える。 それぞれの原料について、関係の深い皮膚原料や物理現象があれば、その原料との関連について考察させる。 	8
第 3 章 基礎化粧品	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚清浄用化粧品 化粧水 クリーム・乳液 その他の基礎化粧品 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎化粧品の学習内容全般について理解させる。 皮膚清浄用化粧品について理解させる。 化粧水・クリーム・乳液・その他基礎化粧品について理解させる。 	8
第 4 章 メイクアップ用化粧品	<ul style="list-style-type: none"> メイクアップ用化粧品の種類と剤形 ベースメイクアップ化粧品 ポイントメイクアップ化粧品 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの化粧品について、どのような目的で使用するのかを理解させる。 それぞれの化粧品について、どのような場所に使用するのかを教える。 それぞれの化粧品について、特徴や特性、原料を教える。 そのためにどのような基材、色材を使うかを考察させる。 	8

【2 学年時】

章	項	内容・目的	履修時間
第 5 章 頭皮・毛髪用 化粧品	<ul style="list-style-type: none"> ・シャンプー剤 ・スタイリング剤 ・パーマ剤 ・ヘアカラー ・育毛剤 	<ul style="list-style-type: none"> ・正常な頭皮と毛髪の状態について理解させる。 ・頭皮・毛髪を清浄にする化粧品について、その使用目的や種類について理解させる。 ・スタイリングに使用させる化粧品について、その使用目的や種類について理解させる。 ・パーマ剤技術に使用させる化粧品について、その使用目的や種類、作用の様式や安全性について理解させる。 ・カラーリングに使用させる化粧品について、その使用目的や種類、作用の様式や安全性について理解させる。 ・頭皮と毛髪を健やかにする化粧品について、処方される成分とその目的について理解させる。 	20
第 6 章 芳香製品と 特殊化粧品	<ul style="list-style-type: none"> ・芳香製品 ・特殊化粧品 	<ul style="list-style-type: none"> ・芳香製品の種類と機能・使用目的の違いを理解させる。 ・特殊化粧品の種類と機能・使用目的の違いを理解させる。 	6
化粧品化学を理解するための基礎化学	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の構成 ・物質（水）の構造 ・溶液とコロイド ・イオンと水素イオン指数 ・物質の変化と化学反応 ・酸化・還元反応 ・タンパク質 	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の構造、化学結合、物質の量について理解させる。 ・溶解の仕組み、浸透、コロイドについて理解させる。 ・塩と塩基の定義、pH、中和反応と塩について理解させる。 	4